

# わが

## 躍動する都市 北斗市の創生に向けて

### 新たな北海道の玄関口として

北海道の南西部に位置する北斗市は、平成18年2月に、旧上磯町かみいそと旧大野町が合併して誕生した道内35番目の市です。本年2月1日には合併15周年を迎えました。

市名には「北の大地にさんぜん」と光り輝く北斗星のように、他の市町村の範となると同時に、個性を失わず独自の輝きをもつ「まちづくり」との思いが込められています。

道内にあつては降雪量が少なく、温暖な気候と肥沃な大地に恵まれ、函館湾に面する前浜からとれる「ホッキ貝」は、伝統漁法であるヤスを用いた突き漁で有名な本市の特産品です。また、北海道水田発祥の地として、古くから稲作が行われている本市で誕生した「ふっくりんこ」は、米の食味ラン



新たな北海道の玄関口・新函館北斗駅

キングで特Aの最高評価を得たブランド米で、これら二つの特産品を組み合わせた「ずーしーほつきー」は、本市の公式キャラクターとして親しまれています。

また、操業130年以上の歴史を持ち、現在稼働しているものとしては国内最古となる太平洋セメント(株)上磯工場が立地し、地域の



北斗桜回廊でのライトアップ(法亀寺しだれ桜)

経済・産業・雇用を支えるなど、一次産業と商工業を中心に発展してきました。

さらに、平成28年3月には、北海道新幹線「新函館北斗駅」が開業し、新たな北海道の玄関口となりました。本市では、開業効果を持続的なものとするため、全国的に知名度の高いトラピスト修道院や、



北斗市公式キャラクター「ずーしーほつきー」

新たな観光資源である北斗桜回廊、きじひき高原などを生かした観光振興や、駅前の企業誘致にも力を入れているところであり、今後は、大手飲料メーカーであるサツポロビールが、市内三ツ石地区に開設したワイン醸造用のブドウ園「グランポレール北海道北斗ヴィンヤード」などの連携による地域振興も期待されています。

### 人口減少に負けない まちづくり

現在、人口減少や少子高齢化の急速な進展が、全国的に大きな社会問題となっていますが、北海道新幹線が開業した本市も、緩やかに人口減少が進み、その対策が最大の課題となっています。

本市では、人口減少問題への取り組みの柱である「子育て支援」について、これまで国に先んじて支援の充実を図ってきた強みを生かし、妊産婦の健診や子ども医療費助成、産後ケア事業の拡充など、全国的にも高い水準の子育て



きじひき高原パノラマ展望台からの絶景

支援策を展開してきました。今後は、幼児教育無償化による保育ニーズの高まりに対応できるよう、保育士の人材バンクを開設するなど、妊娠・出産から育児、子育て期まで切れ目のない施策を展開していきます。

また、移住・定住促進対策については、粘り強く進めなくてはなりません。市民総ぐるみによるシティプロモーションにより、本市の魅力や優位性を内外に発信し、本市が選ばれるために必要な認知

度をより高めるとともに、令和3年度には、大学などを卒業後、U・I・Jターンで本市に移住し、就職した方の奨学金償還を支援する制度を創設するなど、若年層の北上市回帰と社会動態の増加を図ることで、人口減少に負けないまちづくりを進めてまいります。

## 新型コロナウイルス感染症を乗り越えて

昨年、全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束を見通せず、わが国でも厳しい状況が続いています。

本市では「新しい生活様式」の下、感染予防対策を徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民や事業者の皆さまへ必要な支援を行うため、これまで12弾にわたる対策を講じてきました。

地域経済の下支えとして、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい市内飲食店や小売店などへの支援と消費喚起を目的に、全市民にクーポン券を交付する「地域経済緊急対策応援キャンペーン事業」は高い評価をいただいております。さらに感染予防対策とし

て、高齢者施設などの職員、高齢者施設・障がい者施設の新規利用者へのPCR検査への助成なども開始しています。

今後は、新型コロナウイルスワクチンの接種に向けた体制に万全を期すことで、感染拡大の防止を図るとともに、正しい情報に基づいた的確な広報・注意喚起を行うことで、感染者やその家族、医療関係者の方々への、いわれの

## プロフィール

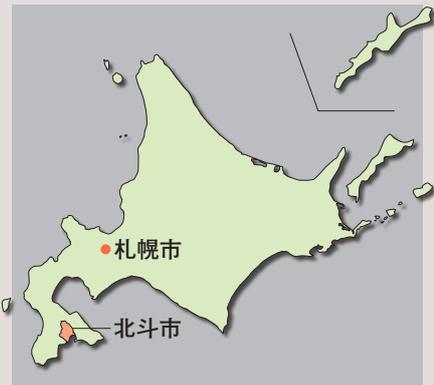
- ◆ 面積 397.44 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万5589人
- ◆ 世帯数 2万2304世帯

〔将来都市像〕ほっとする くらしがあつとにもにすするまちづくり  
〔まちの特徴〕北海道新幹線新函館北斗駅の開業により、新たな北海道の玄関口として発展するまち

〔市町村合併〕平成18年2月1日、上磯町、大野町の2町が新設合併



北斗市長  
池田達雄



〔特産品〕ホッキ貝、ふっくらりんご、トラピストクッキー、マルメロ  
〔観光〕トラピスト修道院、きじひき高原、法亀寺しだれ桜、松前藩戸切地陣屋跡  
〔イベント〕北斗桜回廊、北斗陣屋桜まつり、北斗紅葉回廊、茂辺地さけまつり

ない偏見や差別、心ない誹謗中傷を防止し、市民の皆さまと一丸となつて、この危機を乗り越えていきます。  
ポストコロナを見据え、本来、最優先で取り組むべき少子高齢化および人口減少問題、さらには新函館北斗駅前のにぎわい創出、防災体制の確立など、本市が抱える行政課題の解決に向け、市政運営にまい進してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 自然と共生し、人とひととが 助け合う豊かなまちへ

### 自然豊かな生活創造都市

みどり市は、平成18年3月27日に笠懸町、大間々町、東村の3町村が合併し、群馬県で48年ぶりに12番目の市として誕生しました。群馬県の東部に位置し、北部は足尾山地が連なり、そこを源とする渡良瀬川が市を南北に流れ、南部には平たんな大間々扇状地が広がる、市名のとおりの、市名のとおり



関東の耶馬溪ともたえられる高津戸峡

市内には、日本で初めて縄文時代以前に人類が存在したことを証明した「岩宿遺跡」や関東の耶馬溪と称される「高津戸峡」、そして見る人の心



岩宿博物館とみどり市広報宣伝部長「みどもス」

を癒やす「富弘美術館」、江戸時代から続く「大間々祇園まつり」など、先人たちが残した歴史や自然、伝統文化が息づいています。この地域は、足尾銅山の銅を運ぶ「あかがね街道」の宿場町として、また、生糸の集散地として人々の行き交う場所として発展してきました。

現在でも、南北には栃木県日光市から東京都までつながる国道122号や、市の中央部から東京都内へとつながる東武鉄道桐生線―伊勢崎線など、恵まれた交通網によって周辺都市との交流が生まれ、地域の発展を支えています。

### 子どもたちの成長を促す 子育て支援と特色ある教育

本市が力を入れて取り組んでいる政策が、子育て支援と教育の充実です。その一環として、平成29年度から市内小・中学校の学校給食費無料化を実施しております。さらに、本年4月には学校給食でアレルギー対応食の提供を開始しました。これらの取り組みは、子育て世帯の負担軽減だけでなく、学校給食を通じて、「食事の大切さ」や「食事の楽しさ」を知るため

の教材としての役割も担っています。食育を推進することで、子どもたちの健やかな成長と市の将来を担う人材の育成を目指していきます。

また、全小中学校で英語教育に力を入れ、デジタル教材やデジタル教科書を活用した質の高い授業、そして以前から交流のあるオーストラリアの学校とオンラインによる遠隔授業を実施し、学習の成果を実感することで自信につながる教育を推進していきます。

### 自然と調和し、人々を魅了する「わたらせ渓谷鐵道」

観光政策も本市の重要な政策の一つであり、全国的にも有数の観光地である栃木県日光市と本市を結ぶ「わたらせ渓谷鐵道」は、市の観光業を支える大きな柱の一つです。中でも、渡良瀬川の渓谷美と新緑や桜の開花、紅葉といった四季折々の風景をダイナミックに楽しめるトロッコ列車は、県内外に多くのファンがいます。



わたらせ渓谷鐵道と満開の花桃

また、本市は市域北部で隣接している栃木県日光市の日光東照宮と、群馬県富岡市にある富岡製糸場の二つの世界遺産を結ぶルートの中に位置しています。今後は、これをゴールデンルートと位置付け、国内外の観光客の皆さまに、本市にも立ち寄っていただけるよう、自然・食・文化・レクリエーションなど、さまざまな面で観光資源の磨き上げを行い、首都圏からの観光周遊コースを造成するなどの新たな魅力の創出に取り組んでいきます。

**森林資源を有効活用した産業の育成と脱炭素社会の実現**

本市は、北部地域を中心に市域全体の約8割が森林です。この豊



重機を使用して作業する地域おこし協力隊

富な森林資源を生かした新たな産業の育成や雇用の創出を目指し、林業振興に取り組んでいます。

平成27年度に地域材加工センターを設置して地域材の流通を促進するとともに、製材の際に出る端材を有効活用するため、木質ペレットの製造設備を導入し、生産を開始しました。

林業の担い手確保の取り組みとしては、地域おこし協力隊制度を活用し、全国各地から林業への関心が高い隊員を集め、地元林業事業者の皆さまに隊員を受け入れていただき、次世代を担う林業家を育成していただいています。

また、林業をサステナブルな産業として発展させるためには、伐採後の計画的な植林が必要です。平成30年4月には、国や県、地元森林組合の協力の下、住友林業株式会社により「わたらせ樹木育苗

センター」が開設されました。現在、年間約10万本のカラマツの苗木を生産しており、地元雇用の創出にも貢献していただいています。

生産した木質ペレットは化石燃料より価格が安定しているため、農業が盛んな本市の特性を生かし、施設園芸農家への木質ペレットボイラーの導入を推進し利用いただくことで、農業経営の安定化につなげております。

## プロフィール

- ◆ 面積 208.42km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万147人
- ◆ 世帯数 2万1032世帯

〔将来都市像〕輝くひと 輝くみどり  
豊かな生活創造都市

〔まちの特徴〕渡良瀬川の清流や渓谷美、足尾山地から連なる山々など豊かな自然に恵まれたまち

〔市町村合併〕平成18年3月27日に笠懸町、大間々町、東村が合併し誕生



みどり市長  
須藤昭男



また、一般家庭についてもペレットストーブや薪ストーブ購入費の補助に取り組み、木質バイオマスの普及促進に努めています。

地域全体でエネルギーの地産地消を推進することで、脱炭素社会の実現と新エネルギーがもたらす好循環により、環境にやさしく、安心して住み続けられる持続可能な地域として、より一層の発展を目指していきます。

〔特産品〕トマト、ホウレンソウ、ナス、乾燥芋、干し柿

〔観光〕小中大滝、富弘美術館、小平の里親水公園、高津戸峡、岩宿博物館、わたらせ渓谷鐵道

〔イベント〕カタクリさくらまつり、小夜戸・大畑花桃まつり、大間々祇園まつり、草木湖まつり、笠懸まつり、ひまわりの花畑まつり、関東菊花大会、草木湖一周マラソン全国大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 市民が主役となり、笑顔あふれる ハートフルなまちづくりを目指す

歴史と文化の薫るまち  
「おうみはちまん」

近江八幡市は琵琶湖の東岸、滋賀県のほぼ中央に位置し、日本で唯一の淡水湖に浮かぶ有人島である



春の水郷巡り

る沖島や、ラムサール条約の登録湿地である西の湖があり、国の重要文化的景観として全国第1号の選定を受けた美しい水郷の景色が広がるなど、唯一無二の自然環境を有しています。古くから農業が盛んで、水稲だけでなく、都市部にも出荷される質の高い野菜の栽培や、日本三大和牛の一つである近江牛の畜産業が営まれている県内有数の農業地域です。近年は、果樹栽培や、安全で持続可能な農業を実践するGLOBALG.A.P.認証の取得など、新たな取り組みも生まれています。

万葉集にも詠まれる歴史深い地域で、中世以降は旧中山道や街道が交わる陸上交通と、湖上交通の要衝だったことから、織田信長公の安土城や豊臣秀次公の八幡山城も築かれ、現在に続く「まち」が

形成されました。行商から全国各地に進出し名をはせた、近江商人である「八幡商人」発祥の地でもあり、「三方よし」の精神は今も脈々と受け継がれています。

観光地には、数多く残る各時代を彩る史跡、時代劇のロケ地としても有名な八幡堀、人々のなりわいを感じることでできる商家の街並み、本市を拠点に国内外に多くの名建築を残したヴォーリズの建築物群、県内で最も集客を誇る「ラコリーナ近江八幡」などがあります。

また、JRで京都まで35分、大阪まで1時間余りという京阪神への通勤圏であり、県内の事業所への通勤もしやすく、商業施設も充実する利便性の高いまちとして今後も発展を続けています。



VR安土城

### まちの魅力を全国に発信

より多くの方に近江八幡の魅力を知っていただくために、本市では国内外への情報発信に取り組んでいます。市の公式YouTubeチャンネルには、VR（バーチャルリアリティ）で安土城を再現した動画や、滋賀県出身の女優である堀田真由さんを起用して制作したPR動画をアップし、多くの方々にご覧いただいています。



堀田真由さんが出演する市PR動画



近江八幡市公式YouTubeチャンネル  
QRコード

また、近江牛をはじめとするさまざまな特産品をアピールする絶好の機会と捉え、ふるさと納税を積極的に推進しており、おかげさまで大変多くの皆さまからご寄付をいただいています。

さらに、まちの魅力の一つに、地域で継承してきた「まつり」があります。中でも国の選択無形民俗文化財である「近江八幡の火祭り」として、八幡まつりや篠田の花火などともに指定されている「左義長まつり」は天下の奇祭として名高く、毎年の干支をモチーフに、食品を材料にして精巧に作り上げられる

「ダシ」や、化粧をした若衆がまを練り歩く勇壮華麗な様子は必見です。残念ながら、本年は新型コロナウイルスの感染拡大により縮小開催となりましたが、湖国に春を呼ぶこの祭りが以前のように再開できること

を、市民は心より願っています。

令和2年には、八幡商人の屋敷が多く残り、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているエリアを中心に「BIWAKOピエンナーレ2020」が行われ、コロナ禍の中にもかかわらず、多くの方に訪れていただきました。2年に1度開催されており、町家の伝統的なたたずまいと現代美術が融合したアートの魅力に触れていた

最近では町家をリノベーションし、カフェや宿泊施設などに活用されるなど、新たなまちの魅力も生まれています。古き良き伝統と文化を守りつつ、新たな付加価値を生み出す土壌があることも、大切なまちの魅力であると感じています。

### まちの将来像を描く

本市の人口について、ここ数年はほぼ横ばいで推移しています。出生数は年々減少しており、将来的に人口減少の局面に入ることが想定されています。本市ではこれまでも熱心な市民活動や、市民と行政との協働といった人のつながりによって、さまざまな行政

課題を解決してきました。未来に向け、市民の持つ力をより引き出せるよう、多種多様な課題に直接支援できるクラウドファンディングや、オープンガバナンスの推進、ICTの活用といった新たな手法も積極的に取り入れ、さらに人と人がつながるまちを形作っていかねばなりません。

新型コロナウイルス感染症の収束に向け、市民へのワクチン接種

### プロフィール

- ◆ 面積 177.45km<sup>2</sup> (うち琵琶湖76.03km<sup>2</sup>)
- ◆ 人口 8万2315人
- ◆ 世帯数 3万4527世帯

〔将来都市像〕人がつながり つむぐ「ふるさと近江八幡」

〔まちの特徴〕京阪神地域への通勤圏でありながら、多くの歴史資産や水郷の風景など、歴史と文化、豊かな自然を身近に感じるまち

〔市町村合併〕平成22年3月21日、近江八幡市と安土町との1市1町合併



近江八幡市長  
小西 理



〔特産品〕近江牛、近江米、湖魚、鮒ずし、でつち羊羹、赤こんにやく、丁子麩、木珠、八幡靴、竹細工、ヨシ加工品

〔観光〕八幡堀、安土城跡、日牟禮八幡宮、長命寺、観音正寺、沖島、ヴォーリズ建築、ラコリーナ近江八幡

〔イベント〕左義長まつり、八幡まつり、篠田の花火、あづち信長まつり、八幡堀まつり、水郷の里マラソン、伊崎の棹飛び

の実施や、ダメージを受けた地域経済の回復への迅速な対応はもちろん、子育て環境の整備やインフラの更新など課題もたくさんありますが、市民の皆さまの期待に応えつつ、本市の持つ多彩な魅力ある資源をさらに磨き上げること

で、引き続き多くの皆さまに愛される近江八幡市を目指し、未来志向でのまちづくりを進めてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 市制施行100周年

### 「故きを温ね、行動を起こす」

#### 市の概要

那覇市は、沖縄本島の南西部に位置し、西側は東シナ海に面し、南北および東側は他の市町と接しています。市域は、東西に10・9km、南北に8km、総面積が41・42km<sup>2</sup>で人口約32万人を有しています。また、本市を中心とする2000kmの円周域には、東京、ピョンヤン、香港、ソウル、北京、マニラなど東南アジアの各都市を結ぶ要衝の地点があり、日本とアジア各都市を結ぶ懸け橋として好条件な位置にあります。

琉球王国の王都・商都として古くから栄えてきた本市は、戦争により市街地に壊滅的な被害を受けましたが、軍用地の段階的な返還と合わせた市街地の整備が進められました。また、官公庁施設やオ



首里城公園内にたたずむ琉球王朝時代を物語る「守礼門」

フィス、商業施設、教育施設、文化施設など多様な都市機能が集積し、沖縄県の政治・経済・文化の中心地として、復興・発展を遂げてきました。

市内には、空港、港、バスターミナルなどの交通結節点、琉球王朝時代を物語る首里城公園、識名園

をはじめとした歴史・文化遺産、

ウォーターフロントや緑豊かな公園などの貴重な自然環境があり、多様な地域資源が混然一体になって都市としての魅力を高めています。

#### 「笑顔広がる元気なまち NAHA」を目指して

本市では、平成30年3月に、市民の皆さまとともに次の100年を見据えながら、第5次那覇市総合計画を策定しました。

本計画では、市民と行政が共に目指すべき本市のまちづくりの将来像として「なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまち NAHA」を掲げ、まちづくりの姿勢として、その担い手一人一人を結び付ける「協働・平和・共生・活力・共鳴」の五つの「絆」を示しました。

「なはで暮らし、働き、育てよ



那覇市市制100周年

那覇の歴史と文化の象徴として「首里城」をモチーフとした市制100周年記念事業ロゴマーク

う！」の言葉には、人の一生を支え、見守るふるさとをみんなで作ってあげようという温かい思いが込められています。その思いを形にしていいため、まちづくりの担い手一人一人の「絆」をつないでいくことが、私の使命であると考えております。そのためにも、本計画に掲げた一つ一つの施策を着実に進めて行くことが重要です。幅広く展開する施策の成果がジグソーパズルのようにつながり、やがて面として、市全域に広がることを意識してまいります。

#### 市制施行100周年

本市は、本年5月20日に市制施



文化芸術の創造発信拠点となる施設「那覇文化芸術劇場なはーと」

行100周年を迎えます。100年の道のりは苦難の連続でした。戦後の復興から、米国軍による統治、そして祖国復帰を果たして、平和と自治を希求する市民の力によって、かつてのにぎわいを取り戻し、この100年で県都、商都としての風格を備えた都市へと発展してまいりました。

この節目の年に、本市の文化芸術の創造発信拠点となる施設「那覇文化芸術劇場なはーと」が10月31日に開館します。その日はくしくも2年前、首里城正殿が焼失し

た日であります。琉球文化芸術の創造の礎であり、県民の心のよりどころである首里城の1日も早い復元への願いと、「なはーと」が文化・芸術の発信拠点となるよう強い思いを込めております。

100周年と「なはーと」開館の記念合同式典とこけら落としの舞台は、本市の誇る人間国宝や国指定無形文化財保持者による祝賀の琉球古典舞踊や、次世代を担う若手実演家による踊りが披露されることとなっております。

また、市民や事業者の皆さまが企画・提案し、実施する事業も数多くあります。本市の歴史を題材にしたミュージカル、本市発祥の空手演武などの文化芸能、自治会などが主催する地域の歴史や民俗を知るイベント、商店街や通り会などによる沖縄の食を楽しむイベントなど、幅広いジャンルの催しが市民協働により進められており、市全体で市制100周年を祝う機運が高まっております。

### 「温故〳〵起〳〵新」の精神で行動を起こす

市制施行100周年を迎える本市は、かつての琉球王国の王都で

あり、大交易時代におけるアジアの国際交流拠点としての役割を担ってきた歴史があります。現在も32万人規模の人口を有する沖縄県の県都として、政治、経済、文化、教育、行政などのあらゆる分野で中心的役割を担っており、フロンティアシップとしての役割や、リーダーシップを発揮することが求められています。

歴史に学び、そこから新しい知識を導くことを意味する温故知新という言葉があります。私はその言葉に、新たな行動を起こし挑戦していくという思いを重ね「温故〳〵起〳〵新」と表し、市制施行100周年の節目を契機に、市民の皆さまとともに行動を起こし、未来へ続く道を一步、また一步と進んでまいります決意です。

### プロフィール

- ◆ 面積 41・42km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 32万319人
- ◆ 世帯数 15万5153世帯

〔将来都市像〕なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまちNAHA〜みんなであつなごう市民力〜

〔まちの特徴〕琉球王朝時代からの歴史や文化、亜熱帯特有の気候や自然などのソフトパワーを有するまち

〔特産品〕生鮮マグロ、琉球泡盛、琉球びんがた、首里織、琉球漆器、壺屋焼



那覇市長  
城間幹子



〔観光〕首里城公園、識名園、国際通り、第一牧志公設市場、波の上ビーチ、那覇三大まつり

〔イベント〕沖縄国際映画祭、那覇ハーリー、一万人のエイサー踊り隊、那覇大綱挽まつり、首里城祭、琉球王朝祭り、首里、NAHAMARASON、読売巨人軍春季キャンプ

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。